



ご寄附のお願い

OTSU CITY HOSPITAL

地方独立行政法人
市立大津市民病院
OTSU CITY HOSPITAL

お申し込み方法

1 郵便局によるご寄附

別添の払込取扱票をご利用のうえ、ゆうちょ銀行・郵便局にてお振込みをお願いいたします。(他の銀行、コンビニ等ではご使用いただけません。)

※振込手数料は当院にて負担いたします。

ご寄附いただける総額をご記入ください。

※寄附金額は1,000円以上でお願いしております。

● 払込取扱票



2 現金によるご寄附

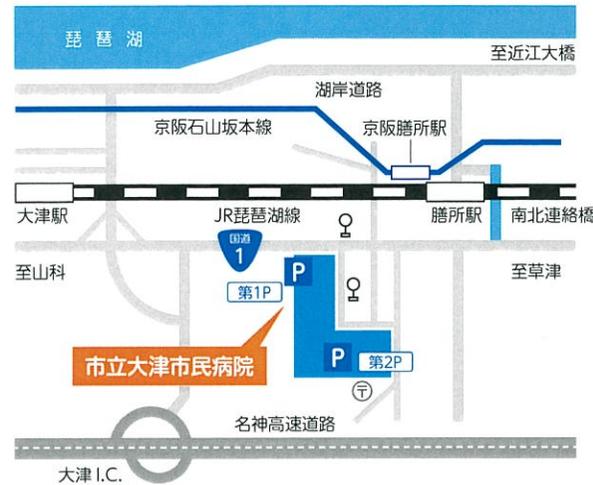
お近くの当院職員へお申し出いただければ、担当者が伺います。(少々お時間がかかることもありますので恐れ入りますがご了承願います。)

税制上の優遇措置について

地方独立行政法人市立大津市民病院への寄附は、税額控除など優遇措置の対象となります。

当院発行の寄附金受領書を添えて確定申告することで、控除を受けることができます。詳しくは最寄りの自治体、税務署にお問い合わせください。

アクセス



自動車：名神高速道路大津インターより約5分

バス：JR大津駅より約10分(国道経由)「大津市民病院前」下車

徒歩：JR膳所駅、京阪膳所駅より約10分

寄附に関する問い合わせ先

地方独立行政法人 市立大津市民病院 経営管理課

〒520-0804 滋賀県大津市本宮二丁目9番9号

TEL 077-522-4607(代)

Eメール och1010@och.or.jp

確定申告の際に利用していただける領収書を
送付いたします。
詳細は担当窓口へお問い合わせください。

.....
病院長からのメッセージ

Message

地方独立行政法人市立大津市民病院は、約120年という伝統に支えられながら、公的医療機関としての使命と責務を果たし、急性期医療を担う中核病院として、地域に高度で最適な医療を提供してまいりました。

これからも安心・安全で質の高い医療を提供するため、診療体制の整備や、「人間力」の高い医療人の育成に努めてまいります。

しかし、公立病院の財政状況は年々厳しくなっております。多様化する地域、患者・ご家族のニーズに応え、ホスピタリティにあふれた良質な医療を提供するため、当院は広く寄附金を受け入れ、地域医療連携の推進・強化や患者サービスのさらなる充実などに役立てています。

皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。



地方独立行政法人 市立大津市民病院
 理事長・院長 片岡 慶正

寄附金は大切にさせていただきます

1 院内環境や患者サービスの充実

患者さんが医療に専念できる快適な療養環境の整備や、患者・ご家族のサポート体制の充実と強化を推進します。

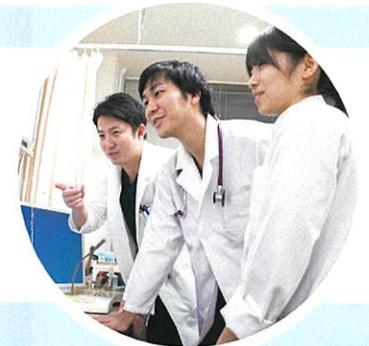


2 先進的な医療機器の導入

救急救命や災害医療、高度先端医療機器、難病治療や緩和医療など、地域や患者ニーズに寄り添う最適な医療の提供のために、機器や装置の整備を進めます。

3 次代の医療を担う人材育成

“医療は人、人は宝”をモットーに、未来の医療を担う若手医療スタッフが、活き活きと笑顔で輝ける病院づくりと、教育体制の充実を進めます。



市立大津市民病院の歩み

市立大津市民病院の第一歩となる

明治32年 大津伝染病院が開院しました。



昭和23年8月開設の大津市立病院
 (昭和25年4月頃撮影(大津市歴史博物館蔵))
 出典：新修大津市史(上)、大津市公報(大津市市政情報課保存)、
 市民病院35周年記念誌



昭和28年4月に名称変更された国民健康保険
 直営大津市民病院(大津市歴史博物館蔵)
 出典：「大津の展望 昭和29年版」
 (昭和30年1月10日発行)
 「大津市広報」(大津市市政情報課保存)



昭和39年1月、新築された大津市民病院
 谷本勇氏撮影(大津市歴史博物館蔵)

明治40年 大津市圓山(まるやま)病院に名称変更
 昭和12年 大津市回生病院開院
 昭和23年 大津市立病院開設
 昭和25年 大津市国民健康保険病院に名称変更
 昭和28年 国民健康直営大津市民病院に名称変更
 昭和39年 大津市民病院に名称変更

そして・・・平成29年

地方独立行政法人 市立大津市民病院に移行

これからも公立病院としての使命を果たしていきます。

